

アユが産卵する自然豊かな野洲川の復活をめざして！



国土交通省 近畿地方整備局
琵琶湖河川事務所

～地域の皆さんとアユの産卵床づくりを実施しました～

R7.9.3

- 琵琶湖河川事務所では、かつての自然豊かな野洲川の復元を目指して自然再生の取組を推進しており、守山市主催のもと、地元の小中学生とともに「アユの産卵床づくり」を実施しました。
- 当日は滋賀県水産試験場の方からアユの生態に関する説明を受けた後、大きな石を取り除きながら河床の耕うんを行い、アユが産卵しやすい環境の整備を行いました。
- 併せて、アユだけでなく多くの魚の居場所をつくるため、バーブエも設置しました。

〈位置図〉 ● : 実施場所



※背景の地図は「地理院地図(電子国土WEB)」を使用

日時：令和7年8月23日（土）9:30～11:30
場所：野洲川新庄大橋上流
参加者：地元の小中学生とその保護者29名
守山市・琵琶湖河川事務所他15名
主催：守山市 環境生活部 環境政策課
共催：近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所
協力：株式会社 伊藤園



森中守山市長が見学に来られました。

アユの生態説明



アユの生活史や湖産アユの特徴について説明していただきました。

バーブエ設置



河床耕うんで除去した石を積み上げてバーブエを設置し、川の流れに変化をつけました。

アユの産卵床づくり(河床の耕うん)



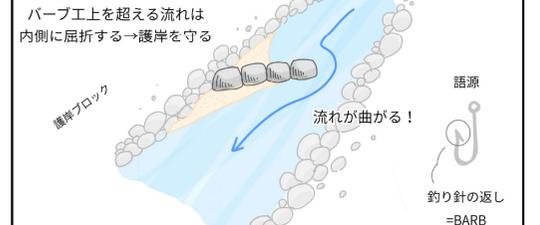
河床を掘り起こして大きな石を取り除くことで局所的に流れや水深を変化させ、アユが産卵する砂礫が多くなるよう整備を行いました。

作業実施後の川の変化



平坦な流れから異なる流速や水深が生まれたことが水面からも分かるようになりました。

河川内に障害物を置くことで流れが変化します
流れに対して上向きに設置する水制を **バーブエ** といいます



バーブエの先端部では流れが速くなり河床が洗掘される
根本部分では流れが緩やかになり土砂が堆積して寄り洲が形成される

出典)「はじめての魚の居場所づくり vol2」
滋賀県ホームページより
<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kendoseibi/kasenkoan/337822.html>

参加者の感想

- ・作業前後で川の流れが変わっていることが実感できた。
- ・うまくバーブエが設置できたと思う。今回の作業によりアユが卵を産んでくれたら嬉しい。

国土交通省 近畿地方整備局
琵琶湖河川事務所 流域治水課
〒520-2279
大津市黒津4-5-1
TEL 077-546-0867

【ホームページ】
事務所 アクア琵琶



【X(旧Twitter)】
事務所 WS琵琶

